

**10月20日(月)**

9:00-10:20

**【開会セッション】**

議長：徐引錫(ソ・インソク) 韓国側セミナー準備委員長／韓国原子力研究所 嘱託研究員

**開会挨拶**

韓国側団長

日本側団長 菅伸之 北海道電力(株) 常務取締役

**特別講演** 李昌健(イ・チャンゴン) 韓国原子力委員会委員

**基調講演**

(韓国側)「韓国のエネルギー需給見通し」 鄭東洛(ジョン・ドンラク) 韓国水力原子力(株)社長

(日本側)「日本の原子力の現状について」 菅伸之 北海道電力(株) 常務取締役

10:20-12:30

**【セッション1 安全文化の向上と人材養成】**

共同議長：チェ・グァンシク 韓国原子力安全技術院 規制政策室責任研究員  
(日本側)

発表 15分×6編、質疑応答 5分×6回

<韓国側>

- 「原子力発電所における安全文化」  
キム・ブンシク 韓国水力原子力(株) 安全技術本部安全評価部長
- 「韓国における原子力安全文化醸成への取組み」  
チェ・グァンシク 韓国原子力安全技術院 規制政策室責任研究員
- 「今後の人材養成における女性の役割」  
ナム・ヨンミ 韓国原子力研究所 原子力研修院

<日本側>

- 「原子力安全と企業統治－東電問題への一考察－」  
宅間正夫 (社)日本原子力産業会議 専務理事
- 「安全文化醸成のための職場安全診断システムの開発と適用－組織風土・安全管理・安全意識の評価－」  
高野研一 電力中央研究所 ヒューマンファクター研究センター上席研究員
- 「日本における人材養成戦略」  
北村俊郎 日本原子力発電(株) 理事

**昼食** (12:30-14:00)

14:00-17:30

## 【セッション2 放射性廃棄物処分と国民理解】（パネルセッション）

議長：宋明宰(ソン・ミンジェ) 韓国水力原子力(株)原子力環境技術院 研究開発室長

キーノート 20分×5編

<韓国側>

- 「中低レベル放射性廃棄物処分場立地計画」  
イ・ナクヒ 韓国水力原子力(株)原子力環境技術院 事業推進室長
- 「使用済み燃料管理の現状と展望」  
イム・ヨンジョ 韓国水力原子力(株) 安全技術本部放射線安全室長

<日本側>

- 「原燃サイクル施設の運営と周辺住民の理解への取り組み」  
斎藤喜一郎 日本原燃(株) 広報渉外室立地グループリーダー
- 「日本における高レベル放射性廃棄物処分調査地の公募と国民理解」  
鈴木康夫 原子力発電環境整備機構 顧問
- 「使用済燃料貯蔵の現状と取り組み」  
安井浩明 東京電力(株) 原子力計画部中間貯蔵事業化グループマネージャー

休憩

## パネリストコメント

- (韓国側) 朴憲輝(パク・ヒョンビ) 湖西大学 環境工学科教授  
チェ・スンジン (財)韓国原子力文化財団 情報研究室長  
およびキーノート発表者
- (日本側) 斎藤喜一郎 日本原燃(株) 広報渉外室立地グループリーダー  
安井浩明 東京電力(株) 原子力計画部中間貯蔵事業化GM  
鈴木康夫 原子力発電環境整備機構 顧問

## ディスカッション

## 質疑応答

18:00-19:30

日韓原産合同歓迎レセプション

**10月21日(火)**

9:00-11:15

**【セッション3 RI・放射線の産業利用】**

共同議長：ハン・ボムス EB Tech(株)  
(日本側)

発表 20分×5編、質疑応答 5分×5回

<韓国側>

- 「放射線架橋による環境に優しい電線開発」  
イ・コンジュ LG電線(株) 研究所
- 「電子線加速器の産業利用」  
ハン・ボムス EB Tech(株)
- 「医療用アイソトープ製造炉の現状と展望」  
オ・スヨル 韓国原子力研究所 ハナロ利用研究団

<日本側>

- 「電子線によるダイオキシン分解」  
小嶋拓治 日本原子力研究所高崎研究所 材料開発部環境保全プロセス研究グループグループリーダー
- 「環境負荷の少ない電線開発における電子ビーム応用」(仮題)

休憩

11:15-12:00

**【セッション4 原子力技術の多目的利用】**

共同議長：韓国、日本

発表 20分×2編、質疑応答 5分×2回

<韓国側>

- 「SMARTを利用した原子力海水淡水化の将来見通し」  
キム・シファン 韓国原子力研究所 一体型原子炉研究開発団長

<日本側>

- 「原子力による水素生産の将来見通し」  
堀 雅夫 原子力システム研究懇話会

昼食 (12:00-13:30)

13:30-15:35

**【セッション5 計装制御(I&C)技術開発動向】**

共同議長：韓国、日本

発表 20 分×5 編、質疑応答 5 分×5 回

<韓国側>

- 「韓国次世代原子炉(APR-1400)の計装制御システムの設計特徴」  
シン・ヨンチョル 韓国水力原子力(株) 新型炉開発センターI&C グループ長
- 「古里2号機コンピューターシステムのアップグレード」  
ペク・ソンミン 韓国電力技術(株) 計装制御設計本部部長
- 「安全系計装制御システム開発」  
ハン・ジェボク 韓国原子力研究所 計装制御人間工学研究部長

<日本側>

- 「原子力発電プラント計装制御設備の保守訓練システム」  
大賀幸治 (株)日立製作所 電力・電機開発研究所主任研究員
- 「オンラインセンサー監視による計装の校正間隔の最適化」  
伊藤広二 三菱重工業(株) 神戸造船所軽水炉プラント技術部計装設備技術課主席技師

休 憩

15:45-17:25

### 【セッション6 保守および運転技術向上】

共同議長：韓国、日本

発表 20 分×4 編、質疑応答 5 分×4 回

<韓国側>

- 「供用期間中検査(ISI)の最近の状況と改善計画」  
イ・ヨンテ 韓国水力原子力(株) 整備企画本部原子炉技術部長
- 「古里3、4号機機器冷却水熱交換器チューブ渦電流探傷検査(ECT)およびスリーピング」  
パク・キテ 韓電機工(株) 原子力整備技術センターSGP チーム長

<日本側>

- 「レーザ励起超音波探傷技術による原子炉炉内構造物の非破壊検査技術」  
大坪 徹 (株)東芝 電力システム社磯子エンジニアリングセンター原子力機器設計部  
機械設計担当主査
- 「日本の維持基準についての最近の動向」  
野村友典 関西電力(株) 原子力事業本部プラント技術グループマネージャー

17:30-18:00

### 【まとめのセッション ～まとめと今後の日韓セミナーのあり方について～】

議長：徐引錫(ソ・インソク) 韓国原子力研究所 嘱託研究員

パネリスト：韓国、日本から3名ずつ

閉 会 (18:00)



**10月21日(火)**

9:00-12:00

**【専門家討論：原子力発電所の寿命管理】**

形式：日韓同時通訳

参加者：限定メンバー

共同議長：洪承烈(ホン・スンヨル) 韓国電力公社電力研究院 原子力発電設備支援グループ長  
(日本側)

キーノート 発表 20分×4編、質疑応答 5分×4回

<韓国側>

- 「定期安全レビュー(PSR)をもとにした発電所の寿命管理の提案」  
ノ・ミョンソプ 韓国水力原子力(株) 経営企画本部政策チーム長
- 「月城1号機の高経年化に対する評価」  
チョン・イルソク 韓国電力公社電力研究院 原子力発電所機械材料グループ部長

<日本側>

- 「原子力発電所における長期保全計画について」  
松浦正幸 四国電力(株) 原子力本部技術グループPLM担当
- 「日本における定期安全レビュー(PSR)の現状」  
馬田和明 九州電力(株) 原子力管理部設備管理グループ副長

休憩

フリーディスカッション 計8名(キーノート発表者および討論参加者)

<討論参加者>

韓国側：キム・テヨン 韓国電力公社電力研究院 原子力発電所機械材料グループ副本部長  
朴潤遠(パク・ユンウォン) 韓国原子力安全技術院 安全規制部長  
日本側：松浦正幸 四国電力(株) 原子力部技術グループPLM担当  
馬田和明 九州電力(株) 原子力管理部設備管理グループ副長  
他

以上